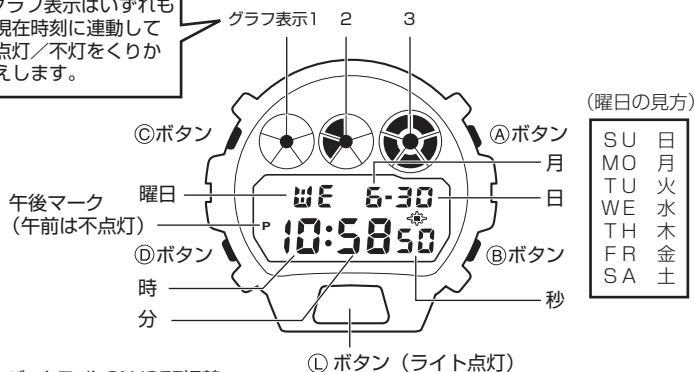


## 操作のしくみと表示の見方

① ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

### 時刻・カレンダーモード

★グラフ表示はいずれも現在時刻に連動して点灯/不灯をくりかえします。



★ELバックライトON/OFF切替

② ボタンを1~2秒間押し続けることに確認音が鳴り、ELバックライトのON(点灯)/OFFが切り替わります。  
※「★ELバックライトの自動発光」参照

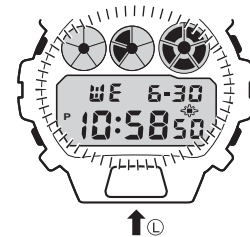
① ↓ (※各機能を使用した後に① ボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。)

### ■表示照明用ELバックライトについて

どのモードのときでも、① ボタンを1回押すと文字板が約2秒間発光します。

※発光しているときにもう一度① ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。

※ライトOFF(点灯)でも① ボタンを押すと発光します。



### ★ELバックライトの自動発光

ライトON(点灯)のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。

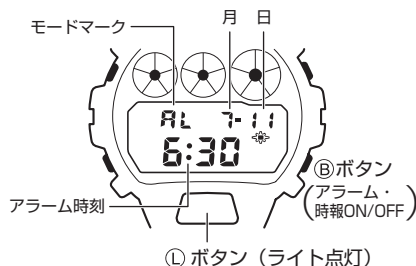
※電子音報音(発光)のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

### <ELバックライトの発光に関するご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。これは故障ではありません。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

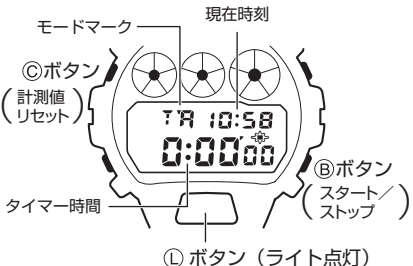
### アラームモード

月・日が指定できるアラーム時刻セット、および毎正時の時報セットができます。



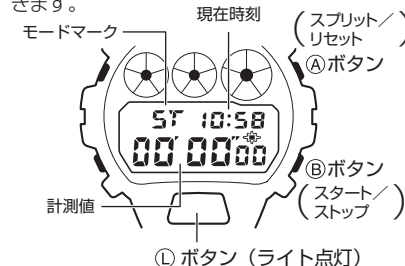
### タイマーモード

1秒単位で、最大24時間までの減算計測ができます。



### ストップウォッチモード

1/100秒単位(1時間を超えると1秒単位)で23時間59分59秒(24時間計)まで計測できます。



## 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

### ■ 秒の合わせ方…30秒以内の遅れ/進みの修正

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

◎ ボタンを押します

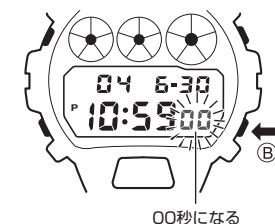
⇒「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて◎ボタンを押します

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって、「00」秒になります。

※ 時報は「時報サービス117番」が便利です。



(3) 秒合わせが終わりましたら、

◎ ボタンを押して、点滅を止めます



※ 秒(時刻・カレンダー)セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

※ カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

### ■ 時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

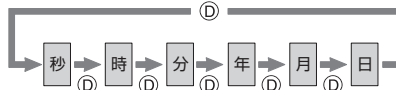
◎ ボタンを押します

⇒「秒」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

◎ ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。



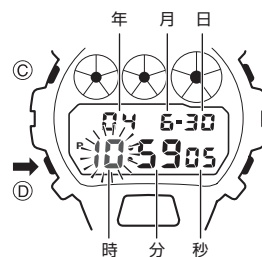
(3) 点滅箇所のセット

◎ ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。

※ 押し続けると早く進みます。

〈時刻・カレンダーモード〉



### ★ 12/24時間制表示切り替え

表示が点滅しているときに、◎ボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後"P")と24時間制表示(24H)とが切り替わります。

上記(2)～(3)の操作を繰り返さない、時刻・カレンダーを合わせてください。

※ 「時」のセットのとき午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。

※ 「年」は1995～2039年までセットできます。

なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

(4) セットが終わりましたら、

◎ ボタンを押して、点滅を止めます

## ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに◎ボタンを3回押すと、ストップウォッチモードになります。

ストップウォッチは23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

### ■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのときに、

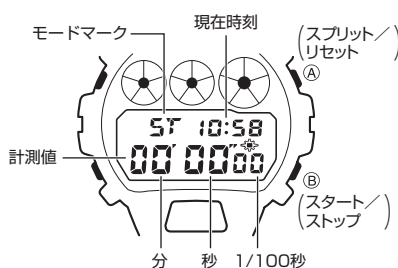
◎ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

★ 計測中に◎ボタンを押すと、スプリット計測となります。もう一度◎ボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

★ 計測終了後◎ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

※ ◎・◎ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。

〈ストップウォッチモード〉



計測値が1時間を超えると、表示単位が「時・分・秒」になり、1秒単位で計測を行いません。



### ● 通常計測

◎ → ◎ → ◎

スタート ストップ リセット

※ 積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(◎ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

### ● スプリットタイム(途中経過時間)の計測

◎ → ◎ → ◎ → ◎ → ◎

スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

### ● 1・2着同時計測

◎ → ◎ → ◎ → ◎ → ◎

スタート 1着がゴール(1着タイム表示) 2着がゴール 2着タイム表示 リセット

## アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに **ⓐ** ボタンを1回押すと、アラームモードになります。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

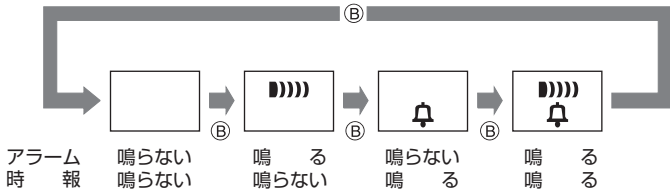
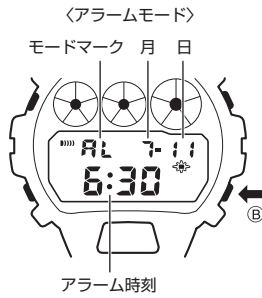
### ■ アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

**ⓑ** ボタンを押します

⇒ **ⓑ** ボタンを押すごとに以下の順でアラーム ON / OFF および時報 ON / OFF が切り替わります。

※ なお、アラーム時刻をセットすると「AL」が点灯し、自動的にアラーム ON となります。(「■ アラーム時刻のセット」参照)



### ■ アラーム・時報の報知方法

- **アラーム ON のとき**  
セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。
- **時報 ON のとき**  
毎正時(00分)になると、「ピッピッ」と電子音が鳴ります。  
※ このとき、いずれの場合でも、ELバックライト ON (☀️ 点灯) にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



### ■ 鳴っている電子音を止めるには

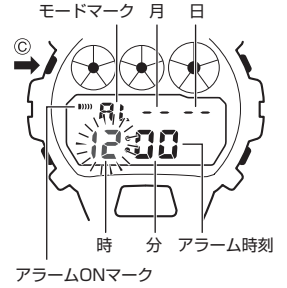
アラーム(時報)音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、**Ⓐ** **ⓑ** **ⓒ** **ⓓ** **ⓔ** ボタンのうち、いずれか1つを押します。

### ■ アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのときに、

**ⓒ** ボタンを押します

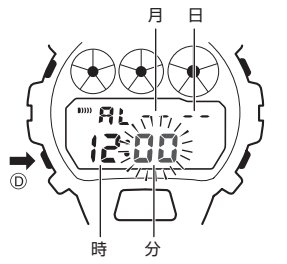
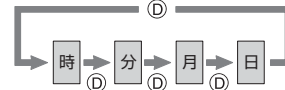
⇒ アラーム時刻の「時」が点滅します。  
※ このとき「AL」が点灯し、アラーム ON となります。



(2) セット箇所を選ぶ

**ⓓ** ボタンを押します

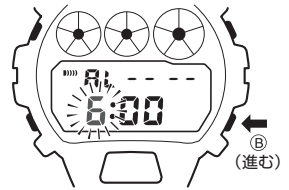
ⓓ ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

**ⓑ** ボタンを押します

⇒ **ⓑ** ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。  
※ 押し続けると早く進みます。



- 「時」のセットのとき、午前/午後「P」にご注意ください。
- 時刻を24時間制「24H」にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。
- 「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

毎日鳴らしたいとき	⇒ 「時・分」のみセット
1ヵ月間毎日鳴らしたいとき	⇒ 「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らしたいとき	⇒ 「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らしたいとき	⇒ 「月・日・時・分」すべてセット

(4) セット後、点滅を止めるには、

**ⓒ** ボタンを押します

※ セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

## タイマーの使い方

時刻・カレンダーモードのときに **ⓐ** ボタンを2回押すと、タイマーモードになります。

タイマーは、1秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

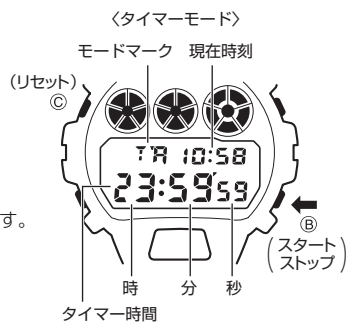
### ■ タイマーの使い方

タイマーモードのときに、

**ⓑ** ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

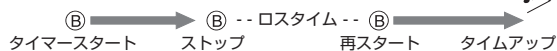
→ 減算計測は1秒単位で行ないます。

★ **ⓐ** ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。



### ★ ロスタイムがあるときは

減算計測中、**ⓑ** ボタンでストップ後、もう一度 **ⓑ** ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

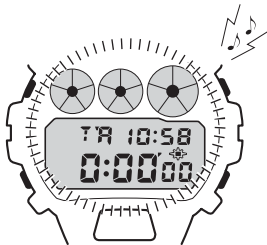


### ■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間\*電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

\*オートリピートタイマーで、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

※ このとき、ELバックライトON (点灯) にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



### ■ タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

#### ● リピートタイマー (繰り返し計測)

タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

#### ● オートリピートタイマー (自動繰り返し計測) <"AUTO" 点灯>

タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

### ★ タイマー方法の選び方

タイマー時間セットのときに、

**ⓐ** ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに "AUTO" が点灯/不点灯を繰り返します。

"AUTO" が不点灯のときはリピートタイマー、"AUTO" が点灯しているときはオートリピートタイマーとなります。



### ■ 鳴っている電子音を止めるには

タイムアップ報知の電子音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、**ⓐ** **ⓑ** **ⓒ** **ⓓ** **ⓔ** ボタンのうち、いずれか1つを押します。

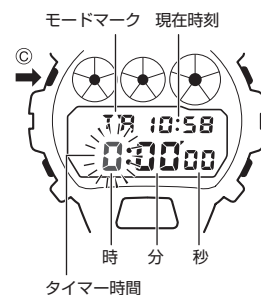
### ■ タイマー時間のセット

タイマー時間は「1秒 (0:00'01)」から「24時間 (0:00'00)」まで、1秒単位でセットできます。

(1) タイマーモードのときに、

**ⓐ** ボタンを押します

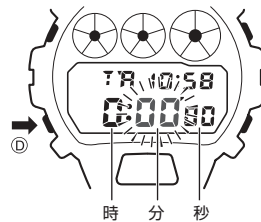
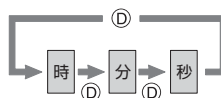
→ タイマー時間の「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

**ⓐ** ボタンを押します

**ⓐ** ボタンを押すごとにセット箇所 (点滅表示) が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

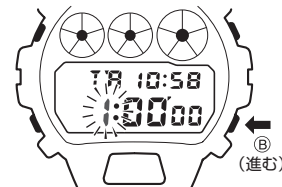


(3) 点滅箇所のセット

**ⓑ** ボタンを押します

→ **ⓑ** ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。

※ 押し続けると早く進みます。



★ 表示が点滅しているときに **ⓓ** ボタンを押すと、タイマー方法 (リピートタイマー/オートリピートタイマー) が選べます。(詳しくは左記「■タイマー方法を選ぶ」参照)



(4) セット後、点滅を止めるには

**ⓒ** ボタンを押します

※ セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。